

平成 27 年度第 2 回関東学生ホッケー連盟役員会

議事要旨 (案)

日時：8 月 26 日 (水) 18 時 30 分～20 時 50 分

会場：品川区総合体育館 会議室

出席者：一川邦彦、近藤景久 (以上副会長 2 名)、久我晃広、塩野谷住雄 (以上副理事長 2 名)、水谷吉男 (事務局長)、河原茂光、ジョン・シアン、萬納宏俊、寺本祐治、宮澤哲郎 (以上常任理事 5 名)、関谷淳一 (以上監事 1 名) 中井将人 (学連委員長)、大貫護義 (競技委員長)、武部行人 (審判委員長)、富田遥 (表彰委員長)、布施拓馬 (普及委員長)、秋山貴洋 (広報委員長)、黒石真由 (財務委員長)、池田周平 (コンプライアンス委員長)、尾崎虹愛 (書記) 以上 20 名

オブザーバー：渡邊陸、三浦隆輔 (以上副学連 2 名)

古屋会長が欠席のため、一川副会長が司会を担当し定刻開催。

【審議事項】

1～3. 平成 27 年度秋季関東学生ホッケーリーグ競技日程、運営規程、競技役員を承認した。春季リーグから女子 2 部リーグ出場校が 1 校増え 10 チームとなった。競技役員は、TD 塩野谷佳雄、ATD 越湖隆一、UM 成田健一、近藤聡史、水谷吉男、TMO 越湖隆一

【報告・連絡事項】

5. 平成 27 年度春季関東学生ホッケーリーグ実施報告があった。
6. 第 14 回全日本大学ホッケー大会東日本代表校決定戦出場枠が 4 校から 3 校になった。
7. 平成 27 年度春季リーグコンプライアンスセミナーの実施報告があった。
8. 各委員会運営状況報告
 - 1 財務委員会より予算執行状況及び東西王座戦の収支決算が報告された。
東西王座戦での記念品の売れ残りは、年末のレセプションで景品へ回すこととする。
 - 2 競技委員会より春季リーグの運営状況が報告され、スティックシールの不足と一部のチームのジャッジ業務の理解不足が反省点として挙げられた。東西王座戦に関しては、電子化された記録用紙の使用が報告され、リーグ戦での採用を検討する事とした。
 - 3 審判委員会は春季リーグで審判員の最終確認が遅くなった事が反省点である。
 - 4 普及委員会より夏季ホッケークリニックの実施・決算報告が行われた。
 - 5 広報委員会より秋季リーグパンフレット作成及び広告協賛獲得結果の報告があった。
五輪特集ページに関して、東京都のオリンピック組織委員会へのメール取材を行った。
 - 6 表彰委員会より順位決定戦にて表彰式を行ったことで代理出席が減ったが、投票時期がリーグ戦中と早いこと、優勝カップ等のリーグ戦中の保管方法が問題点された。
9. 公認指導者制度が平成 28 年度春季リーグより完全実施となるので対応を確認する。
10. 2020 年東京五輪競技施設を将来に亘って維持するため、各校の希望する使用頻度等をアンケート調査することとした。

以上